

# 世界史

## 注意

1. 問題は全部で 11 ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その 1)はマーク・シートになっている。HB の黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の ○ を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

### 解答記入例(解答が 1 のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>								
---	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことにならない。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

[ I ] 以下の文章を読んで、問題に答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

- (1) この年、倭寇対策に功績のあった( A )が高麗を倒して、朝鮮王朝を建国した。
- (2) この年、ヌルハチが女真の部族を統一し、( B )を建国し、中国東北部を統治するようになった。
- (3) この年、鄭成功は( C )が勢力をふるっていた台湾を占領し、清朝の中国支配に抵抗した。
- (4) この年、( D )の宦官であった鄭和の艦隊の遠征が開始された。
- (5) 1421年、( E )は、首都を北京に移した。( E )はこのほか、<sup>(H)</sup>モンゴル高原に遠征し、ベトナムを占領した人物である。
- (6) この年、( F )は北京を占領し、明朝を滅亡させた。その後、清軍が華北に侵入し、( F )を倒して、<sup>(I)</sup>征服王朝を樹立した。
- (7) この年、豊臣秀吉は、再び朝鮮に出兵した。これは、日本では慶長の役、朝鮮では丁酉倭乱と呼ばれている。この時、( G )の率いる水軍が秀吉の軍を撃退した。

問 1 (1)から(7)の        部を古いものから新しいものへ順に並び替え、その番号をマークしなさい。(5)の時期は明示されている。

1 → 2 → (5) → 3 → 4 → 5 → 6

問 2 ( A )に入る人名としてもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 7

- ① 趙匡胤                  ② 全琫準                  ③ 金玉均  
④ 朱全忠                  ⑤ 李成桂

問 3 ( B )に入る国名として、もっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 8

- ① 清                  ② 吐 蕃                  ③ 渤 海  
④ 北 元                  ⑤ 後 金(アイシン)

問 4 ( C )に入る国名として、もっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 9

- ① イギリス                  ② フランス                  ③ ポルトガル  
④ オランダ                  ⑤ 日 本

問 5 ( D )に入る語句として、もっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 10

- ① キリスト教                  ② 道 教                  ③ イスラーム教  
④ ゾロアスター教                  ⑤ マニ教

問 6 ( E )に入る人名として、もっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 11

- ① 万曆帝                  ② 永樂帝                  ③ 洪武帝  
④ 正統帝                  ⑤ 康熙帝

問 7 ( F )に入る人名として、もっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 12

- ① 朱元璋                  ② 安祿山                  ③ 李自成  
④ 呂三桂                  ⑤ 鄭芝龍

問 8 ( G )に入る人名として、もっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 13

- ① 宋應星                  ② 張居正                  ③ 王陽明  
④ 李舜臣                  ⑤ 金玉均

問9 下線部(H)に関して、明軍を退け、独立したベトナムの王朝としてもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 14

- ① 黎朝
- ② 阮朝
- ③ 陳朝
- ④ タウンジー朝
- ⑤ 南詔

問10 下線部(I)に関して、この王朝の中国統治の特徴として、もっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 15

- ① 軍の組織として八旗とともに、漢人による綠營を編成した。
- ② 滿洲人のみが正規軍の八旗となった。
- ③ 滿洲人だけを中央機関の官僚として登用した。
- ④ チベットを藩部として統治し、チベット仏教を弾圧した。

[Ⅱ] グレート・ブリテン島北部およびアイルランド島の歴史についての以下の文章

A, Bを読んで、問い合わせに答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

A グレート・ブリテン島北部では、11世紀にスコットランド王国が成立した。王国成立後、しばしばフランスと結んでイングランド王と対立していたが、17世紀になるとスコットランド王がジェームズ1世としてイングランド王に就き、<sup>(ア)</sup>イングランドの王朝として( a )朝を開き、同君連合が成立した。( b )がイギリスの政治の指揮を執っていた1630年代には、スコットランドで( b )への反発が強まり、反乱が起こった。その十数年後には、スコットランドはイギリスの指導者のひとりによって征服された。スコットランドとイギリスが正式に合併するのは、( c )治世下である。

政治的にみるとスコットランドはイギリス側に征服・合併される歴史をたどったが、自然科学・社会科学の分野では、18世紀、スコットランド出身者が重要な役割を果たした。グラスゴー大学での教職歴をもっていた( d )は1776年に出版した著作物の中で重商主義を批判し、自由主義的な経済の重要性を説いた。また、この人物を介して同大学で職を得たといわれている( e )は蒸気機関を1769年に改良し、その実用化への道を開いた。また、都市も発展し、グラスゴーは北アメリカからの( f )の輸入などにより商業が栄えただけでなく、ウイスキー製造などの工業も盛んであった。

第二次世界大戦後、スコットランドでは、自治・独立を望む機運が高まつた。<sup>(イ)</sup>1997年には自治議会・政府設立が住民投票において可決され、1999年には外交・国防など国が権限を留保する分野を除く、広範な権限にかかるスコットランド議会が設置された。21世紀に入ってからは分離独立の是非を問う住民投票が実施された。

B アイルランドにおいて、イギリスの征服は12世紀に開始された。16世紀前半にはヘンリイ8世が武力と買収でアイルランドに進出し、17世紀半ば、イギリスの指導者により広大な土地が没収され、<sup>(ウ)</sup>1801年にはイギリスに併合されて連合王国に組み込まれた。アイルランドの不利な状況はその後も続いたため、( g )らアイルランド人によってアイルランド人の立場を改善する運動

が起り、1829年の( h )の成立につながった。アイルランドではその後も、自治を求める運動が続いた。イギリス政府・議会内ではアイルランドの自治について話し合われたが、1886年と1893年にグラッドストンが提出したアイルランド自治法案は議会を通過せず、アイルランドをめぐる問題は未解決のまま、20世紀を迎えた。

第一次世界大戦開戦前後から1920年代半ばまで、アイルランドは激動の時期であった。第一次世界大戦時、アイルランド島出身兵士からなる師団が( i )に位置するソンムでの戦いで多数の死者を出し、これがイギリスに対して忠誠を示すものとみなされた一方で、ダブリンでは、1916年に對英武装蜂起が起きた。この蜂起はイギリス政府軍によって鎮圧されたが、イギリスは、1920年代前半、アイルランド島の一部の地域を除く形でアイルランドをイギリスの自治領として承認した。自治領となった地域は、1937年に( j )としてイギリス連邦から事實上、離脱し、第二次世界大戦後、完全な独立国となつた。

問1 ( a )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。  
い。 16

- ① ステュアート                    ② ノルマン  
③ ハノーヴァー                    ④ プランタジネット

問2 ( b )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。  
い。 17

- ① エリザベス1世                    ② クロムウェル  
③ チャールズ1世                    ④ チャールズ2世

問3 ( c )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。  
い。 18

- ① アン女王                            ② ウィリアム3世  
③ ジェームズ2世                            ④ ジョージ1世

問 4 ( d )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

い。 19

- ① アダム・スミス      ② ケネー  
③ フランシス・ベーコン      ④ リカード

問 5 ( e )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

い。 20

- ① カートライト      ② スティーヴンソン  
③ ニューコメン      ④ ワット

問 6 ( f )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

い。 21

- ① 絹織物      ② 毛織物      ③ タバコ      ④ 縫織物

問 7 ( g )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

い。 22

- ① オーウエン      ② オコンネル      ③ コブデン      ④ ドラクロア

問 8 ( h )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

い。 23

- ① アイルランド土地法      ② カトリック教徒解放法  
③ 審査法      ④ 人身保護法

問 9 ( i )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

い。 24

- ① グレート・ブリテン島北部      ② グレート・ブリテン島南部  
③ フランス北部      ④ フランス南部

問10 ( j )に入るもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

い。 25

- ① アイルランド自由国      ② アルスター  
③ エール      ④ 大ブリテン王国

問11 下線部(ア)に関する以下の文章を読み、カッコ内に入るもっとも適切なもの

を一つ選び、その番号をマークしなさい。 26

ジェームズ1世はピューリタンを弾圧したため、ピューリタンを中心とする一団はアメリカ大陸に渡り( )に定住した。ここで形成された植民地はやがてニューイングランド植民地へと発展した。

- ① ニューファンドランド      ② フィラデルフィア  
③ プリマス      ④ ワシントン

問12 下線部(イ)に関する以下の文章を読み、カッコ内に入るもっとも適切なもの

を一つ選び、その番号をマークしなさい。 27

ヨーロッパにおいて第二次世界大戦後から今日にかけて分離・独立運動がおこった地方として、スコットランドの他に、カタルーニャ地方が挙げられる。この地方の中心都市のバルセロナは、1360年時、( )に属していた。

- ① アラゴン王国      ② カステイリヤ王国  
③ ナバラ王国      ④ ポルトガル王国

問13 下線部(ウ)に関連して、次の文 a と b は、アイルランド島の土地に占める、カトリック教徒所有の土地の割合について述べたものである。a と b の正誤の組合せとしてもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。28

a 1641 年と 1703 年とを比べると、カトリック教徒が所有する土地の割合が高いのは 1703 年である。

b 島北部に位置する 7 州と島の西半分とを比べると、1703 年において、カトリック教徒が所有する土地の割合が高いのは北部である。

- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

問14 下線部(エ)に関連して、第一次世界大戦開戦から 1922 年末までに起きた出来事として正しくないものを以下から一つ選び、その番号をマークしなさい。29

- ① インドのアムリットサールではローラット法制定後、イギリス軍が民衆の集会に乱入り発砲して、多数の死傷者が出了。この出来事により反英運動はさらに高まった。
- ② エジプトではワフド党を中心に独立運動が展開され、イギリスが保護権を放棄したのに伴い、エジプト王国が成立した。
- ③ イギリスの保護国であったアフガニスタンはイギリスとの戦いの後、完全な独立を達成した。
- ④ アラビア半島では、イブン・サウードがイギリスの援助を得て、サウジアラビア王国を建設した。

問15 文章Bに関連して、2018年、イギリスのEU離脱にむけた協議において、アイルランド島内にあるイギリスとアイルランドとの国境の管理の問題が焦点となった。国境に関する次の文章のうちもっとも適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 [30]

- ① 第二次世界大戦後、ドイツが東西に分裂すると、ドイツ連邦共和国はただちにドイツ・ポーランド間の国境をオーデル川・ナイセ川の線であると認めた。
- ② 北緯38度線を境界にして韓国と北朝鮮が別々の国家として成立するこ<sup>ト</sup>が、カイロ会談によって決められた。
- ③ ヴェルサイユ条約により、アルザス・ロレーヌ地方の西側にドイツとフランスの国境線が定められた。
- ④ 第二次世界大戦後、インド北西部、パキスタン・中国と国境を接するカシミール地方では、その帰属をめぐりインドとパキスタンが対立した。

〔Ⅲ〕 ドイツ統一に関連する出来事についての以下の文章を読んで、空欄①～⑩にもっとも適切な語句または数字を入れなさい。解答用紙は(その2)を使用すること。

1949年、ドイツ連邦共和国とドイツ(①)国が成立し、ドイツは分裂した。両国は対立し続けていたが、1969年にドイツ連邦共和国首相となった(②)は、ソ連・東欧との和解促進を図った政策である東方外交を進めた。そして、1972年には東西ドイツ基本条約が調印され、双方の主権を互いに確認した。「東欧革命」の中、19(③)年、ドイツ(①)国では18年間にわたって社会主義統一党の書記長であった(④)が退陣し、「ベルリンの壁」は崩壊した。翌年、ドイツ(①)国は5つの州としてドイツ連邦共和国に編入され、統一ドイツが誕生した。ドイツ連邦共和国の首都はボンからベルリンに移ったが、(⑤)大統領、(⑥)首相はその地位に留まり、国旗・国歌も変わらなかつた。

1797年、後にドイツ共和国歌となりドイツ連邦共和国歌となる曲がウィーンで初演された。18世紀後半から19世紀初めにかけて(⑦)や(⑧)らによって古典派音楽は完成されたが、この曲は「交響楽の父」と呼ばれる(⑦)が神聖ローマ皇帝フランツ2世への賛歌として作曲したものである。一方、「樂聖」と呼ばれる(⑧)は、1804年、ナポレオンを讃える曲として作曲した交響曲3番の献呈辞を、彼の皇帝即位に怒り破り捨てている。

1805年、神聖ローマ皇帝フランツ2世は、オーストリア皇帝としてはフランツ1世であったが、(⑨)の三帝会戦においてロシア皇帝(⑩)とともに皇帝ナポレオン1世と戦い大敗する。1806年には、16の西南ドイツ諸邦は、ナポレオン1世を盟主とする(⑪)を結成し、神聖ローマ帝国からの離脱を宣言する。そして、皇帝フランツ2世は退位し、962年の(⑫)家オットー1世の戴冠を起源とする神聖ローマ帝国は消滅した。1809年のヴァグラムの戦いでもフランツ1世はナポレオン1世に決定的な敗北を喫する。この敗戦後、オーストリ

ア外相メッテルニヒの画策もあり、 フランツ1世の娘マリー・ルイーゼはナポレオン1世と結婚した。

1812年、ナポレオン1世はロシア遠征に失敗し、1813年のライプツィヒの戦いでも敗北する。以降、( ⑪ )は瓦解していく。翌1814年にはパリが陥落し、ナポレオン1世は退位に追い込まれ( ⑬ )に流された。同年、ヨーロッパ諸国の代表が参集しウィーン会議が始まる。この会議は、5大国による委員会が主導権を握り、オーストリア外相メッテルニヒ、フランス外相( ⑭ )、イギリス外相カースルレー、プロイセン首相( ⑮ )、ロシア皇帝( ⑯ )がその中心であった。会議は紛糾したが、1815年、ナポレオン1世が( ⑬ )を脱出し帝位を回復すると、ウィーン議定書が締結され会議は終結した。ウィーン会議の結果、ロシア皇帝はポーランド国王を兼ねることとなり、プロイセンは東西に領土を拡張した。また、オーストリアはロンバルディア・ヴェネツィアを、イギリスはマルタ島や旧オランダ領の( ⑯ )とケープ植民地を獲得することとなった。そして35君主国と4自由市からなるドイツ連邦が組織された。なお、このドイツ連邦は、18( ⑰ )年のプロイセン＝オーストリア戦争におけるプロイセンの勝利により、解体することとなる。

1852年、ナポレオン1世の甥ルイ＝ナポレオンは皇帝に即位した。このナポレオン3世は、メキシコの( ⑱ )大統領による対外債務返済停止を口実に、1861年よりイギリス・( ⑲ )を誘ってメキシコに武力干渉を行った。そして、フランツ1世の孫マクシミリアンを皇帝とする帝政をメキシコに成立させたが、抵抗は激しく、結局フランス軍は撤退し1867年にマクシミリアンは銃殺された。この失敗後、ドイツ統一を阻止して威信回復を図ろうとしたナポレオン3世は、1870年、プロイセン＝フランス戦争を起こしたが、スダンにおいて捕虜となり第二帝政は崩壊する。1871年、プロイセン王ヴィルヘルム1世はフランスの( ⑳ )においてドイツ皇帝に即位し、ドイツ帝国は成立した。







